

災害支援車両を貸与頂きました!

この度中国電力株式会社様より、災害支援福祉車両の貸与を受けました。

L.C.C ういんぐとワークセンターフレンドに日産キャラバンが1台ずつ届きましたので、早速送迎や配達などで使わせて頂いています。原子力災害発生時には避難車両として活躍する車ですので、日頃から大切に使用したいと思います。



OJT新任研修の合同実施を終えて。



11月29日にOJT委員会(職場内研修委員会)の主催で、新任研修の法人内合同実施を致しました。

法人内9事業所から新任職員を中心に17名の参加。社会人としての基礎的なマナーや心構えだけでなく、障がいのある方の支援に就く上で知っておくべき基礎知識についての時間も多く取り、中堅職員の任意参加も多数ありました。

印象に残りやすいように、委員のロールプレイによる実演を取り入れたり内容も工夫。すると、分かりやすだけでなく、普段の自分の業務や支援を振り返る機会になった、との感想が多く寄せられました。

研修の企画は2年前から立てていましたが、コロナの影響で調整が難しく再三延期となり、各所のご協力で今年やっと開催することができました。成果も大きいと感じられ、とても有意義な研修になったと思います。

来年度以降も工夫を重ねながら、また新任職員だけでなく幅広い層の職員と学びを深める機会として、継続して毎年実施できたらと思います。(ケアセンター大空・中濱)

苦情や要望の受付・解決への取り組み報告 (令和4年9月~令和4年12月)

標記期間中に苦情の申し立てはありませんでした。今後も真摯に対応していきたいと考えますので、お気兼ねなく、お申し付け下さい。
なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

千鳥福祉会苦情解決第三者委員
京 俊輔 氏 (島根大学人間科学部 准教授) TEL0852-32-6239
足立 孝子 氏 (島根大学人間科学部 助教) TEL0852-32-9051
島根県施設運営適正化委員会 TEL0852-32-5913

利用者みなさんの「声」受け付け報告 (令和4年9月~令和4年12月)

当法人では、利用者みなさんから上がるいろいろな相談、その「声」に耳を傾け、利用者みなさんの立場に立った支援をしていきたいと考えています。各事業所がそれぞれに工夫して「声」に耳を傾け、相談に応じていきたいと思っております。

	利用者みなさまより	ご家族みなさまより (世話人含む)
持田寮	42	2
ういんぐ	56	7
フレンド	50	0
ばすてるばすてるびいす	18	3
共同生活	17	3
大空	30	0

「Facebook」や「マチコミ」では、日常の様々な活動や情報がご覧いただけます。



「Facebook」
法人のFacebookページを情報発信委員会で運営しております。
<<https://www.facebook.com/chidorifukushikai1415/>>
事業所での日々の様子を、SNSでより身近にお伝えできるよう頑張りますので、よろしくお祈りします!(フォローやリアクション頂けると大変喜びます!)



「マチコミ」にご登録の皆様へ
職員・保護者の連絡網として導入したメール配信サービス「マチコミ」について、アプリ版のご案内です。スマートフォンからご利用の場合は、アプリ登録でタイムラインの閲覧などより便利にお使い頂けます。
アプリのダウンロードはこちらから。
<※もしくは各ストアから「マチコミ」で検索。>
詳細は各事業所の情報発信委員までお気軽にお問い合わせください。

千鳥福祉会ホームページ
URL <http://www.tidori.org/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

Leaving
Care News
2023.1.20 No.144



謹賀新年

2023



新しい年に寄せて。



千鳥福祉会

理事長 山本昌子

2019年に武漢で発症したコロナが次の年には日本にも感染が広がり、未だに収まりが見えません。

まさに「戦」は5年目に入ります。当法人は立ち上げて32年になりますが、現場を揺るがす感染経験は初めてです。そして、設立時の入所施設の設計で、30人の小規模な入所施設では異例だったと思いますが、できるだけ小人数の生活空間を準備し、ノーマルな生活に近づけるという狙いで北棟と南棟に分離しました。福祉事業にも支援の効率化が求められる昨今、課題になるかもと心配していましたが、今回の感染症対策では生活を完全に二分する良さを実感する機会になり、全体への拡散を防ぐことができました。

一方では、コロナ感染拡大の前から手掛けてまいりましたL.C.C.ういんぐの移設工事が完了し、敷地内に分散していた作業場を集めることができました。職員の移動時間短縮・業務効率化に繋がるとを願いながらもではありませんが、それにも増して、新しい建屋の広々とした明るい空間での活動が始まり利用者の皆さんの表情も明るく、会話も弾みホッとしています。組織にとってコミュニケーションは基本です。職員間の日常的なさやかな会話や笑顔のやり取りがあってこそ力を合わせて次の課題に進めます。コロナ禍にあっても、役職員一同この基本を大切にして、困難と「戦い」ながら福祉の役割を果たして進みたいと思います。本年もどうかよろしくお願いいたします。

また、昨年末には家族会の皆様には清掃のボランティアをして頂き、一層きれいな空間で新年を迎えることができました。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

〒690-0814 松江市東持田町1415
社会福祉法人 千鳥福祉会
TEL0852-24-8820(代)FAX0852-24-8825
障がい者支援施設 持田寮
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ
ワークセンターフレンド
共同生活援助事業所つばきの里
居宅介護等事業所千鳥福祉会ケアセンター大空
相談支援事業所 ひまわり
放課後等デイサービスばすてるばすてるびいす
URL <http://www.tidori.org/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

編集/情報発信委員会

- ・江指 裕嗣
- ・中濱萌乃夏
- ・山崎 耕平
- ・高本 舞祈
- ・三原 恵美
- ・片寄みなみ
- ・日野 裕美
- ・植尾 佳代



還暦

祝 成人

グループホームのお正月2023

この正月も、日中支援で朝陽に集ったグループホームの皆さん。お抹茶を立てたり、手作り絵馬に一人ひとり抱負を書いたり、正月行事に親しまれました。お雑煮やおせちなど正月料理も堪能。また、パートの世話人さん手作りの、エレガントなしめ飾りを飾るホームもありました。
ヘルパー外出で初詣に行かれた方も。好天に恵まれ、2023年、幸先の良いスタートです！



戦場のメリークリスマス

2022年12月、持田寮は、またもコロナの脅威に晒されました。
23日に寮内で行う予定だったクリスマス会。全体での開催は困難…それでも、毎年とても楽しみにしてくださいませるので、なんとかクリスマス気分を味わえるよう、南北の各棟でできることを行いました。
職員は皆防護服着用でしたが、小物などで雰囲気のある装いを。食事は当初の予定通りお弁当を注文し、急速ケーキを追加購入してちょっとだけ豪華に。
結果、小規模でも喜んで頂けて、とても嬉しく感じました。感染症に苦しまされた一年でしたが、利用者様の笑顔には、その苦勞も報われた気持ちになりました。



秋の日帰り旅行

フレンドの秋の旅行は、三瓶、安来、倉吉、境港方面の4班にて、皆さん思い思いの楽しみ方をされ、「楽しかった、行けてよかった」という多くの声を頂きました。
持田寮は11月、4班に分かれて安来へ。道中、道の駅あらエッサでは屋台の食べ物を堪能。安来演芸館では安来節鑑賞と、どじょうすくい体験ができ、ステージに上がりプロに教わりながら楽しんで踊る利用者様の姿も。
山陰の中にも楽しめる所が沢山あると改めて実感。一方で、次回はもう少し遠方へも旅行できたら…と願う気持ちも。職員も利用者も毎年のお楽しみです。今から計画を考えてワクワクしています。



冬休み

ぱすてる&ぴいす 冬休みの過ごし方・2022

この冬は、2学期が終わりに差し掛かった頃から、しめ縄飾りや年賀状作りに取り掛かりました。
初めてのしめ縄飾り作りでは、色とりどりの花のモチーフをリースのように飾り、クリスマスでもお正月でも両方楽しめるような作品に。
年賀状はウサギの形をくり抜いた紙で毛糸をはさみ、色選びで雰囲気が変わる、個性的な作品に仕上がりました。
また、ぱすてるでは忘年会、ぱすてるぴいすではお楽しみバイキングを開催。外出もままならない中ですが、これからも児童さんの笑顔あふれる楽しい企画を考えていきます。



年度シリーズ 挑戦！ 事業所編

今年度、利用者の皆さんや当法人のコロナ禍での取り組みにスポットライトを当てて、お送りしているシリーズ「挑戦」。最終回は利用者の皆さんと職員、一緒に続けて来た挑戦を紹介します。

ぱすてるぴいすの挑戦！～島根半島四十二浦巡り



ぱすてるぴいすでは、令和3年4月から、「島根半島四十二浦巡り」という活動を始めました。「長期的な目標を持って活動し、やり遂げることで達成感・自信に繋げる！」という趣旨から立ち上がった企画です。
西は出雲大社から東は美保神社まで、半島沿岸に点在する四十二の神社を巡るこの信仰習俗は、遅くとも江戸時代末期には存在していたと言われています。
発案した当初は戸惑う方もおられました。まずは皆で地図を描いてイメージを膨らませました。
1日に行ける神社は2～5カ所。お弁当を持っての外出はちょっとした旅行気分、ワクワクする移動中の車内では、ゲームをしたり、会話も弾みます。
200段近くある階段を登ったり、浮島のような小島に神社があったり…。様々な景色を見て、言葉に尽くせない大自然の美しさに触れ、たくさんの新しい発見があった旅でした。もちろん、ハプニングも色々ありましたが、それさえも思い出です。
そして、令和4年12月、都合1年8カ月をかけて、ついにこの活動も終わりを迎えました。長かったような、あっという間だったような…。ですが、42枚たった御朱印の紙を見ると、やはり嬉しさと達成感で胸がいっぱいになります。
1月には、達成祝い会をして、皆で思い出を振り返る予定です。そして、また、新たな発見の旅に出かけたいと思っています。(ぱすてるぴいす・松崎純子)

今年度、3回に渡りお送りして来たシリーズ「挑戦」、いかがだったでしょうか。遠い目標に向かっての「挑戦」、これも一步一步、階段を上っていくような地道な取り組みなのかもしれません。しかし、その道程の中での成長こそが、私たちに新しい景色を見せてくれるのだと思います。これからも、共に歩みを進めて行きたいものです。

